



第544号

令和5年4月6日
中央区立有馬小学校
TEL 3 6 6 6 - 5 7 0 2
FAX 3 6 6 8 - 2 3 6 4

「有馬小学校でよかった！」と思える学校に（Ver.令和5年度）

校長 小林 一輝

令和5年度、中央区立有馬小学校の校長 小林一輝（こばやしかずき）です。昨年度に引き続き、どうぞよろしくお願いたします。

今年度、新1年生116名を迎え、全校児童674名で有馬小学校の教育活動がスタートしました。今年度も学校教育活動の根幹である「児童のために」を合言葉に、全教職員が力を合わせて、児童も保護者も教職員も地域の方も笑顔いっぱいとなる学校を創っていきたくと思っています。

さて、3月24日の令和4年度修了式の日、びっくりする出来事があったので、ここに紹介させていただきます。それは、朝から校庭に響く「おはようございます！」というあいさつ運動の声・・・「あれ？今日は、あいさつ運動あったっけ？」不思議な思いをもちながら、職員室の窓から校庭を覗くと、校庭側の門のところで元気よくあいさつする子ども達の姿が・・・よく見るとそれは、23日に卒業式を終わらせたばかりの6年生（卒業生）数名でした。びっくりすると同時に、とても心が温かくなりました。職員室のベランダに出て、大きく手を振ると向こうも気がついて、大きく手を振り返してくれました。その卒業生が、どんな気持ちで卒業した次の日の朝から学校の門に立ってくれていたのか、真相は分かりません。下級生への「有馬小を頼むよ」の気持ちなのか、卒業したのが「寂しかった」のか・・・。

この思いもよらない出来事から、昨年度の学校だより4月号に書かせていただいたことを思い出しました。「有馬小学校に通う児童全員が『有馬小学校は、楽しいよ。有馬小学校でよかった。』と思えるように、大人になった時に『先生やみんなに会いたい』と思ってもらえるように・・・。」という内容でした。改めて、子ども達が充実した6年間を送ることができるようにするという事。その責任の大きさを心に留めました。

4月、子ども達にとっては、新たな出会い、新たな出発の時でもあり、どんな先生やどんな友だちと出会えるか、期待を膨らませているはず。その期待に応えるべく、本校の教育目標「自ら学ぶ子」「思いやりのある子」「心と体の健康な子」を目指し、一人ひとりが生き生きと個性を発揮し、自分のよさや可能性を発見できるように頑張ります。

今年度は、コロナ禍により多くの制限があった学校の対応から、再興していく年度になると思います。復活していくもの、新しく創り上げていくものなど、様々になると思います。秋には、150周年の記念式典も予定されております。保護者、地域の皆様、本年度も一層のご理解とご協力、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

4月の生活目標

「学校のきまりをまもろう」

新しい学年としての自覚をもち、学校で楽しく、安全に生活できるよう、ご家庭でもお子様とご一緒にご確認をお願いします。

4月の保健目標

「手洗い・うがいをしっかりしよう」

今までも手洗い・うがいをこまめにやってきました。コロナ禍に限らず、1人ひとりがしっかりと取り組みましょう。

4月の安全指導目標

低「通学路を知る」

中「安全な登下校」

高「登下校の安全を守り、下級生のお手伝いをする」